

2014年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	電気通信工学科						
科目名	電子回路Ⅱ						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年後期		
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)／必修科目(電気エネルギーコース)／選択必修科目(情報システムコース)						
担当者	喜屋武 毅						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・電子回路を構成するダイオード、トランジスタなど各種部品の電気的特性の説明ができる。(B3) ・演算増幅器の動作と機能を説明できる。(B3) ・電子回路とキルヒホッフの法則との繋がりが説明できる。(B3) ・演算増幅器を用いた比例回路の計算ができる。(B3) ・演算増幅器を用いた微分回路と積分回路の計算ができる。(A7,B3) ・演算増幅器を用いた各種フィルタの計算ができる。(A7,B3,C2) 						
日程と内容	09/16 講義の概要, 単位と次元, 電圧源と電流源 09/30 R, L, C回路素子と電子回路 10/07 回路素子(ダイオード)の特性と動作原理 10/14 回路素子(トランジスタ)の特性と動作原理 10/28 演算増幅器による反転・非反転増幅回路Ⅰ 10/29 演算増幅器による反転・非反転増幅回路Ⅱ + (演習1) 11/04 演算増幅器による差動増幅回路 11/11 増幅度と利得・加算・電圧フォロア回路 11/18 演算増幅器による微分回路・積分回路Ⅰ 11/25 演算増幅器による微分回路・積分回路Ⅱ 12/02 比例・積分回路, 一次遅れ回路 + (演習2) 12/09 各種フィルタ, 周波数伝達関数 12/16 周波数特性, ボード線図 01/13 低域フィルタ, 遮断周波数(カットオフ) 01/20 総合演習 + (演習3) 01/27 定期試験						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計				
	演習	30%		100%			
授業到達目標の達成度	単位取得学生に関しては, 授業到達目標の全てにおいて概ね達成できたと思われる。						
反省点	キルヒホッフの法則や演算増幅器の動作などの根本的なところの理解に苦労している学生が多く, 講義内容を難しく感じているようだ。電気回路の基礎知識を補完しながら授業を実施したが, 一部の学生については, 理解度や学習意欲の向上に繋がっていない感がある。						
来年度の計画	授業内容については概ね今年度の計画を踏襲するが, 講義内容を精査して, 基礎的概念の理解を深めるために, 演習問題を多めに準備し, 学生の理解を定着させる工夫を図る。						
授業評価アンケートに対するコメント	授業の総合評価は8.3点と前年度と同様であるが, アンケートの項目によりバラつきがあり, 授業内容の理解を図る項目や興味を引出せているかの項目などで不評であることより, 学生の理解や興味を引く内容を取り込み, 講義内容の理解度を高めるように努力する。						
履修登録者数	72名	定期試験 受験者数	61名	合格者数	41名	合格率	67%